

教育学専修

学校教育、社会教育、家庭教育という3つの柱をもとに、生涯にわたる教育という営みを幅広く見渡せる教員を育てます。

◆ 学びのポイント

1 他人に 変えられるのではなく、 自ら変わるために

教育は子どもの人生に深く関わる営みです。子どもを変えるには、自らを変えなければなりません。そのための知識やスキル(技能)は、教育史や教育基礎(教育原理)の知見に基づいてこそ生きて働くものとなります。



2 広い視野から 個別の教育実践を捉える

教育は、地域や学校に根ざして個別具体的に営まれています。同時に、教育は社会と結び付き、グローバルに動いています。教育社会学やカリキュラム論・教育方法学の観点を通して、客観的かつ自省的に子どもの実態や教育課題を捉え、具体的な教育実践の方法論を身につけます。

3 教育をシステムとして捉え、 地域と連携する

教育は真空の中で行われるものではなく、教師の実践は教育システムと地域社会の現実の中で行われるものです。教育経営学や生涯学習論(社会教育学)を通して教育が受けている社会的制約を踏まえつつ、それを乗り越える知恵を修得します。

◆ 学びの領域

教育をその根本まで掘り下げて学ぶ 5つの領域

子どもの発達と教育の関係や、国家・社会と教育の関係の踏まえ、それらの知見を教育の目標・内容・方法に生かせるような教育実践のあり方を科学的に探求し、学びます。



教育学専修の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限		教育哲学 思想特講	校外学習 指導特講	教育実習 事前指導	
3・4時限		初等教育 実践指導		教育実習 事前指導	生涯教育 演習
5・6時限	幼児と言葉	保育内容 研究		教育課程 演習	
7・8時限	教育方法学 演習	教育人権 アプローチ特講		音声学 音韻論	
9・10時限					

校外学習指導特講
博物館を視察し、学校外での国際理解教育について学びます。



教育方法学演習
教室環境整備と授業研究に関する演習を通して、教育実践に関する実践的知識と方法を学びます。



教育課程演習
文献の講読や実践例の分析を通して、カリキュラムの基礎理論とその具体例を学びます。

Student's Voice 在学生の声

「幅広い視点から
教育を学ぶことが
できます」

教育学専修3年生
大東 美鈴さん
(奈良県立
平城高等学校出身)



教育学専修では、「教育」というものをあらゆる視点から見つめ直し、広範な知識と理解を深めることができます。特に専修の専門的な授業は、多くても20人ほどの少人数で行われ、さまざまな教育問題についてみんなで議論し合いながら学習しています。

教育学専修のいいところは、副免許や資格の選択幅が広いということです。私は、小学校の免許に加えて、英語の中高の免許、幼稚園教諭の免許、スクールサポーター、図書館司書の資格を取ろうと頑張っています。とはいえ毎日勉強ばかりではなく、部活動やアルバイトとも両立し、忙しくも充実した毎日を送っています。4年間という長いようであるという間に過ぎてしまう限られた時間をどう過ごすかは、あなた次第です。いろんなことにチャレンジしたい、素敵な先生を目指したい、そんな方はぜひ教育学専修へ！

主な開講科目

教育史特講・演習/教育哲学・思想特講・演習/教育社会学特講・演習/教育経営学特講・演習/教育方法学特講・演習/教育課程特講・演習/生涯教育計画特講1/生涯教育演習/教育人権アプローチ特講・演習/生涯教育史特講/校外学習指導特講/生涯教育政策特講

取得できる免許状
小学校教諭一種等(16.7取得できる免許状・資格)のページ参照)

卒業後の主な進路

本専修の卒業生の多数が、学校の先生になっています。主に、小学校の教員ですが、中学校、高等学校や特別支援学校の教員になる人もいます。

教員および専門分野(令和元年5月1日現在)

- ・板橋 孝幸教授/教育史、地域学習論、教育課程および教育方法に関する研究
- ・片岡 弘勝教授/生涯学習、社会教育、地域づくりと生涯学習・社会教育の関連に関する研究
- ・渋谷 真樹教授/教育社会学、異文化間教育、多文化社会に生きる子ども達のアイデンティティ形成
- ・橋崎 頼子准教授/カリキュラム論、市民性教育、市民性教育のカリキュラム構成原理に関する研究
- ・赤沢 早人教授/教育方法学、教育課程論、教育課程および教育方法に関する研究
- ・生田 周二教授/人権教育、社会教育、人権教育、子ども・若者支援の社会教育的研究
- ・後藤 篤特任講師/教育思想、教育実践史、近代日本の生活指導実践に関する思想的な研究
- ・山中 矢展特任講師/教育経営学、特別支援教育、ミドルアップタウン型の学校組織論、ミドルリーダーの育成、インクルーシブ教育システムの推進